

## 若槻一夫さん

### 紺綬褒章受章



亀嵩地区出身で、現在広島市で建設会社を経営する若槻一夫さんが、公益のために私財（五百万円以上）を寄付した者を対象とする紺綬褒章を受章されることとなり、その伝達式が九月八日、島根県広島事務所にて行われました。

若槻さんは、約四十年前から地元の亀嵩地区への寄附など慈善活動を始められ、奥出雲町のふるさと納税第一号になるなど、現在もふるさと奥出雲のために様々な取り組みをされています。平成二十四年八月には、高さ五メートルにも及ぶ彫刻（タヴィデ像、ヴィーナス像 評価額七千万円）を寄贈いただき、この度その功績が認められ受章の栄に浴されました。おめでとうございます。

## 春日名誉院長

### 全国国民健康保険診療施設協議会会長表彰を受賞

奥出雲病院の春日正己名誉院長が全国国民健康保険診療施設協議会会長表彰を受賞することとなり、その表彰式が十月四日、松江市の島根県民会館にて開催された第五十三回全国国民健康保険学会の席上で行われました。

春日名誉院長は、平成三年九月に奥出雲病院（当時の仁多病院）に着任以来、毎週一回以上の自宅往診や地元企業の産業医として地域に密着した医療を実践されてきました。また、病院を身近なものにすべく広く住民が参加できる病院祭の開催、更には「奥出雲町地域医療研究会」を主催するなど、住民や諸団体との連携に積極的に取り組まれ、この度その功績が認められ受賞となりました。おめでとうございます。



▲受賞後あいさつをする春日名誉院長

## 奥出雲オーガニックコットンお披露目

町内で有機栽培した綿と国際認証済みオーガニックコットンをブレンドした「奥出雲オーガニックコットン」の展示販売会が九月十七日から十九日までの間、上阿井の一味同心塾にて行われました。

これらの商品は、同館長中村成子先生がオーガニックコットン製品「天衣無縫ブランド」の（株）新藤の藤澤徹社長に相談したのがきっかけで町内工務店等と結成した「奥出雲オーガニックコットンプロジェクト」によって栽培収穫された綿四十五kgを使って製作されたもので、新たな特産品となることが期待されます。



▲中村先生(左)と藤澤社長

## 新米を全国へお届け

九月二十六日、今年で会社設立十五周年を迎える（株）奥出雲仁多米から、約十トンの新米が主に関東に向けて発送されました。

仁多米コシヒカリは昨年十一月に行われた食味の優れた新米を選ぶ「第十四回米・食味分析鑑定コンクール」において三年連続四回目の金賞を受賞しています。今年の八月には更なる品質の向上を目的として製品出荷倉庫を増築し、衛生面や出荷管理の充実に努めており、本年も販売数の増加が期待されます。



▲出荷を見守る関係者

## ご長寿を祝い

### 内閣総理大臣から祝詞と記念品贈呈

例年厚生労働省が行っている老人の日記念事業の一環として、本年度百歳を迎えられる皆さんへ安部晋三内閣総理大臣からの祝詞と銀杯を贈呈するため、九月十八日、井上町長と勝田副町長がそれぞれ自宅などを訪問しました。

「これからも元気で過ごしてください」と声をかけると、百歳になられた皆さんは笑顔で記念品を受け取られました。

### 「百歳になる皆さん」

- 江角 武夫さん (三所)
- 山本 アサノさん (三成)
- 小笹 キミエさん (三成)
- 岸本 タマヨさん (亀嵩)
- 田部 豊子さん (上阿井)
- 江角 トヨさん (上阿井)
- 糸原 英子さん (大谷)



## トントんと響く 太鼓の音

第九回となる奥出雲太鼓祭が、今年「どん♪どん♪奥出雲」と名称を変え十月六日、みなり遊園地多目的広場（ゴルフセンター）にて開催されました。

例年と同様に県内外の太鼓団体の演奏も味わいながら、今回新たな試みとして、来場者が太鼓に直にさわり演奏してみる体験イベントも行われ、来場者の興味を引いていました。会場には関係者をはじめ約三百人が集まり、季節外れの強い日差しにもかかわらず、太鼓演奏の醍醐味を堪能しました。

## 世界平和こそ戦没者の願い ～戦没者追悼式～

九月十四日、カルチャープラザ仁多にて平成二十五年奥出雲町戦没者追悼式が行われ、遺族会会員をはじめ約二百人が参列し、先の大戦で犠牲になられた八百九十三柱の英霊を偲びました。

遺族を代表して三成地区遺族会の永沼睦子さんが「私の父は戦地から戻っては来たが、肺結核になっていた。医薬品も十分ではない時代で、昭和二十二年に亡くなった。その悲しみは消えることはない。武力でなく話し合いで世界平和を実現できるよう、残された私たちが努めたい」と追悼の言葉を述べられました。最後に参列者全員で献花をし、平和への誓いを新たにしました。



▲多目的広場ステージで演奏する仁多乃飛炎太鼓